

こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

# 玉本なるみ

です



浦終先・日本共産党北地区委員長

☎075-439-3261

2020年3月①号

## 大宮交通公園改修説明会 大紛糾！

京都市北区にある大宮交通公園の説明があり、参加してきました。大宮小学校の大宮ホールにいっぱい参加でした。最初に写真や録画をしないようにとなぜか言われ、会場の様子がわかる写真は撮れませんでした。

最初、担当課長から、15分弱の説明後、1時間20分ほど、絶えることなく、質疑が次々出されました。

**パークPFI手法**で、大阪の大和リースという企業に委託します。大和リースが運営する収益部門以外を京都市の指定管理者として、委託する形式です。

住民の皆さんから出された意見は、「詳しい図面もない中で、わからない。もう一度、眺望図などがでたら説明会をすべき」と多数出されました。当然です。しかし、市からは、工事の説明会は近隣の皆さんにやるとのことですが、市からの説明は今回で終わりとなり、大ブーイングでした。...

あまりにも市民を置き去りにしています。少々工事が遅れても、市民から寄せられた意見や希望がいっぱい詰まった愛される公園にして欲しいものです。**ゴーカートをやめる理由は、自転車や歩行者と競合するのは危険を伴うと、やめたこと**

のこと。今や自転車同士や歩行者との事故が多い時代です。自転車だけだと安全というものではないと思います。結局のところ、管理にお金がかかるので、やめたということだと思います。

大和リースの方も皆さんと作っていきたくておられました。それが、そんな公園にするのかから、市民の声を聞くべきです。



大和リースの方も皆さんと作っていきたくておられました。それが、そんな公園にするのかから、市民の声を聞くべきです。

**市バス特37号の延伸路線が、3月20日早朝より、スタートします。**嬉しいですね～！引き続き、増便の運動を取り組んでいきます。

## 新型コロナウイルス対策について

学校の休校や年度末の卒業式や送別会などのイベントの自粛も進む中で、関係業者の経営が大変厳しい状況にあり、ご要望をお聴きする活動を強めています。

昨年10月の消費税増税による影響もあり、ダブルパンチを受けている状況です。

緊急に事業運営や設備投資に充てる融資制度はすぐに創設されましたが、「借りても返せない」という声が多く、補助制度や利子補給などの対策が必要です。

今後も新型の感染症は起こりうる可能性はあるわけで、日常の備えや職員の体制も必要です。職員を205人削減する方針が出されていますが、これ以上の公務員の減数は問題です。

## つづやき：賃貸物件の引っ越し時にご注意を！

先日、次女が賃貸マンションから引っ越しをする際、手伝いに行き、退去時の業者の点検の立ち合いに同席しました。すると、3ヶ所ほど、壁のクロスに小さな傷がありました。契約書には原状復帰の記載があり、業者の方は、小さな傷でも、その壁の一面の張替えになると数十メートルのクロス張替え量と、ハウスクリーニング代3万円、水道代3か月分などトータル6万円弱の請求がありました。しかも、2万円の敷金を差し引いての額です。

いくら原状復帰と言っても、5年半住んでいたもので、自然に消耗するものであり、それを住居者が支払うのはおかしい話です。

後から、業者に「6年も住んでいたなら、修繕費はいらないはず、5年半だったら、多くでも負担は5分の1程度ではないか」と知り合いのアドボイスの元に交渉したら、「少し厳しい査定をしたかもしれない。ではザクっと3分の1ということにします」とのこと。なんかええ加減な話です。少し、安くなったのはいいのですが、すっきりしない話です。クレームが来たら、対応するというやり方なのかもしれません。賃貸契約時、退去時には、呉くれもお気を付けください！



結局、引き続き今の職場に同じく働くことになっていきますが、無理せず健康第一に頑張りたいと思っております。人生100年時代と言われ出し、働くこと、定年についても、社会として、考えていく時期が来ています。年金が少なくなると、生活が苦しくなる可能性があります。会社で働いていくと、年金が少なくなると、生活が苦しくなる可能性があります。会社で働いていくと、年金が少なくなると、生活が苦しくなる可能性があります。

会社で働いていくと、年金が少なくなると、生活が苦しくなる可能性があります。会社で働いていくと、年金が少なくなると、生活が苦しくなる可能性があります。会社で働いていくと、年金が少なくなると、生活が苦しくなる可能性があります。

自宅ですけれども、用事をしていくと、定年まで、よく頑張ってきたなと、ぼそぼそと夫のつづやきという声がかえってきました。何度か、確かに、無事に定年を迎えるという事は本当に感慨深いものです。もっとみんな感謝の意を表すべきだったかな...

2月に65歳になった夫が定年を迎えました。少し前から、何か慰勞をしてもいいのかなと、ソワソワしていた夫でしたが、家族の日程調整の関係で、夜に食事を開き、お祝いをしました。私は小さな花束とお酒をプレゼントして、次女夫婦からお酒も帰ってきて、喜んでくれました。

夫の定年を迎えて...

インタビュー

